

駒の館だより

第30号

平成23年3月1日 発行

明治国際医療大学附属図書館

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL. 0771-72-1181 (代)

明治国際医療大学図書館報



目次

① 研究を成し遂げるために	中尾 昌宏
② 30周年を迎えて図書館を語る 30周年をむかえた図書館の役割は いろいろな図書館との出会い 「駒の館」にウマが 現れてもおかしくはないですネ 「駒の館だより」第30号お祝い 統合医療とは 読書と僕	田中 忠蔵 山田 皓子 川喜田健司 北小路博司 今西 二郎 嶺尾 徹
④ 特別寄稿1 情報時代と図書館	中川 雅夫
⑤ 特別寄稿2 鍼灸を志す諸君へ	矢野 忠
⑥⑦ 新着図書案内一覧	附属図書館
⑧ 図書館からのお知らせ／編集後記	//

研究を成し遂げるために

附属図書館長 中尾 昌宏



教育とともに大学人としての重要な仕事のひとつである研究を完成させるためにはどうすればいいか、思いつくまま書いてみた。

まずデータを解析しある程度の結果が得られれば、すぐ論文にまとめることが重要である。100点満点でなくてもいい、70点程度の論文を書き続けることである。大ホームランを狙うのではなくヒットを量産していけば、いわゆる勝ち癖がついてくる。数年たてばデータの蓄積とともに思考も整理され、よりハイレベルな領域に達することができると思う。

専門領域の論文や学会発表内容にはできるだけ幅広く目を通しておくことも重要である。最先端の知識がなければいい論文を書くことはできない。また学会の趨勢を知っていれば、タイムリーな研究テーマを思いつくこともできる。あれもしたい、これもできると思うようになればしめたものである。

論文の内容には最初から最後まで一本筋が通っている必要がある。余計なことを付け加えてはいけな。何を言いたいかわからなくなるからである。投稿した雑誌の査読者をしてなるほどと思わせればいい。当然結論はひとつである。

論文はやはり英語で書きたい。英語は科学論文には適当

な言葉である。自分の考えをストレートに表現できるからである。世界中の人に読んでもらえるという利点もある。日本語はやや情緒的となり、インパクトが弱いような感じがする。

自分を支えてくれる共同研究者の存在も重要である。研究は1人ではできないからである。特に若い人たちのコンピューターを駆使してのデータの収集や解析には感心させられる。談論風発することも新しいテーマの発見やモチベーションのアップにつながる。幅広い年齢層の同じようなテーマを研究している仲間をできるだけ増やすべきである。

若い研究者と話をするのは楽しいことである。余談になるが、以前新聞か何かのコラムで「大学におけるゼミ生や大学院生と指導教授とは、研究テーマの決定や就職から結婚に関する相談まで生涯にわたる師弟関係を結ぶことになる。」という内容の文章を読んだことがある。その時はそんなものかなあと思う程度だったが、今ではその意味がよく分かる。明治国際医療大学に奉職して本当によかったと思う理由のひとつである。

ヤグルマギク

学名 *Centaurea Cyanus* L.

キク科

細く伸びた茎の頂部にピンク、白、ブルーなど八重咲きの花を咲かせる草花です。ドライフラワーになった花束がツタンカーメンの棺と共に発見されました。花言葉は「繊細」「優美」「優雅」など。

(効能)

せき・気管支炎・肝臓病・利尿・目薬等



30周年をむかえた図書館の役割は



保健医療学部長
田中 忠 蔵

2010年は「電子書籍」が一つのキーワードとなるようです。iPadが発売され遅れていた書籍の電子化が話題となっています。米国のAmazon.comでは紙の書籍をKindleキンドルで読むデジタル本の売り上げが上回ったと報道されました。実際、Amazon.comで医学書を検索すると結構な数のタイトルが見られます。しかし、残念ながら医学書は勿論、日本語で読める普通の本は見あたりません。これに対して、手持ちの本を裁断しスキャナーで読み込みPDFとして読む、自炊本といわれるものが注目されています。実際に行ってみると置き場所に困る雑誌や本の保存に有効です。しかも、今

「いろいろな図書館との出会い」



看護学部長
山田 皓 子

「図書館」という言葉の響きはとてもいい。何か未知の世界との出会いがありそうでワクワクする。逆に、研究で行き詰まり何かヒントが欲しい時、以前に読んだのに忘れてたページ探しあて文献からその成果を確認する切羽詰った時、図書館は勇気をくれる。

高校1・2年次の夏休みには文学書をかたっぱしから読破して、読み終わった日本文学全集、世界文学全集の棚を満足して眺めたものであった。しかし、後日そのころ読んだ本の著者大仏次郎氏と、受け持ち看護師として出会ったときは、恐れ多い気がしたがうれしかった。ちょうど天皇の世紀を執筆されていて病室で、何の資料も広げずに原稿を書かれていた姿には、またまた感動したものでし

「駒の館」にウマが現れても

おかしくはないですネ。



国際交流センター長
川喜田 健 司

本学の馬場にウマたちが定期的に訪れるようになってから、すでに1ヶ年が過ぎようとしています。大学から車で20分ほど走ると、風光明媚な美山町の茅葺きの里があります。その観光スポットの少し手前に、ホースケイプという乗馬施設があり、そこからマックス号とヒカル号が、オーナーの新井さんの運転する輸入物の洒落たトレーラーに揺られて毎週一回大学まで来てくれるのです。「駒の館」に主人が訪れた感じです。

ウマという生きものは、その凛々しい立ち姿とつぶらな瞳でヒトを虜にするのですが、その大きな体から人格なら

では医学文献をPDFで入手することが多くなっています。例えば、代表的なソフトウェアにPapersがありますが、これは直接PubMedや図書館のLANにアクセスして検索した論文がダウンロードでき、キーワードから分類して保存できます。また、PDFを読む際に、蛍光ペン印をつけるようなことや注意書きを付箋で貼ることも出来ます。パソコンでは辞書が使えるのでほぼデジタルで論文を読み整理することができます。しかし本学は、PubMedに相当する図書館の検索、論文のダウンロード機能がありません。一方、教育を中心に考えると、本が必要になります。しかし、図書を資料として考えると、研究の分野と同じことが言えます。必要な資料を素早く閲覧できるようにすることが図書館の役割であるとすると、徐々に資料のデジタル化は避けられないと言えます。実際、国会図書館の分室が京阪奈にオープンし、今年度戦前から図書を電子化するために40数億円の予算が組まれ発注されたと話題になっています。このように本学の図書館が発展するように期待します。

た。
初めて、足を踏み入れた某国立大学の図書館には驚いた、なんと棚はジャーナルばかり。研究者には本になったものはもう古い、他の研究者の新しい論文をいち早く読むことが重要である。一生を掛けて研究してきた成果を同じ研究分野の研究者に先を越されて発表されたら水の泡であるという。初学者には驚きであったが、確かにその通りであることをずっと後になって理解した。最近では、電子媒体でいち早く探せる時代になったが、

・アイルランドの古書が天井までぎっしり詰まった図書館は、知の宝庫として壮観だった。マンチエスターで、雨宿りに立ち寄った図書館もなんだか落ち着く雰囲気だった。図書館は、私にとって懐かしくもあり、知的好奇心を奮い立たせる場である。

本学の図書館は、東洋医学や補完代替療法関連の蔵書が日本一詰まった図書として自慢できたら、と密かに期待している。「駒の館だより」第30号の発刊を祝い、更に新しい図書館としての進展を応援していきたい。

ぬ馬格が漂っているの、イヌやネコのようにペットとして扱えない雰囲気があります。そのような気高さが、ウマの魅力であり、特に自閉症の子供は何よりも親近感を覚えるようです。ウマの性格は自閉症の子供によく似ていると言われますが、新奇なものが苦手なところなど、どこかウマが合うのかもかもしれません。

小生もウマたちとつきあい始めてからすでに40年が過ぎました。ウマは乗って楽しむものと思っていたのですが、最近では、「ウマ介在活動」として、ウマに乗るだけでなく、ウマと一緒にゲームをしたり、餌をやったり、ブラシをかけたりといった、ウマとのふれあいを通じて子供たちに起こることを記録することや、ヒトに与える影響を生理学的な観点から解析することも徐々に進めているところです。乗馬セラピーという言葉をよく耳にするようになりましたが、まだ十分なエビデンスはありません。本学の統合医療の一環として何らかの形で「ウマ介在活動」をとり入れ、より多くの方にウマに親しんでもらい、その中から何とかエビデンスを作り出す方法で思い煩っている今日この頃です。

「駒の館だより」第30号お祝い



附属鍼灸センター長
北小路 博 司

「駒の館だより」第30号発刊を謹んでお祝い申し上げます。

図書館報は、1981年11月に創刊され、毎年1回発刊によって今年で30号の発刊に至りました。まさに積み重ねてきた30年の歴史と云えましょう。

図書館は、明治鍼灸短期大学から明治鍼灸大学そして明治国際医療大学の明治の歴史の変遷のなかで施設が持つ学問の府としての役割を担ってこられました。

現在、蔵書冊数は約69,000冊であり、10年前に比べると20,000冊の増加を示すと共に、電子ジャーナルに関するサービスの充実も進んでいます。

統合医療とは



統合医療センター長
今 西 二 郎

現代西洋医学を中心にして、補完・代替医療 (complementary and alternative medicine; CAM=現時点で現代西洋医学に属するとは思われない医療を意味し、さまざまなものがある) で補っていく医療を統合医療 (integrative medicine or integrated medicine) といいます。統合医療は、疾患の治療を図るだけでなく、予防や治末病、健康増進や維持、active agingをも目的としています。統合医療により、全人的で、しかもQOLやADLを考慮した理想的な医療が行われると考えられます。西洋医学と補完・代替医療を組み合わせた統合医療を実践している医療機関、介護施設、自治体などが、最近、増加してきています。

わたしたちは、将来を見すえた新しい型の統合医療 (次

一方、2011年4月から本学の大学院に通信制大学院が開設される運びとなった。通信制大学院の学生の学習環境を整えるために、ICT技術を駆使したPortal Systemを配備し遠隔地にいる学生さんへの利便を図ります。また、通学制と同様の学術資料の利用環境を実践するための附属図書館の変革が求められています。遠隔地においても修士課程の学生が希望する最先端の学術文献にアクセス可能なリンクを提供する「電子図書館機能」が求められています。さらに、通信制大学院の学生の履修の中にスクーリングの履修形態があり、スクーリングは本学で開設されます。その頻度は毎月1度、土・日曜の2日間が予定されています。そのためスクーリング実施期間中は附属図書館として学生への学術サービスを提供していく必要が生じます。このように本学の附属図書館は改革が進められることによって、学部学生・大学院生・教員・職員の様々な要望に対して対応できうる機能を有し、本学の教育・研究・臨床に更なる貢献していただけることを祈念しております。

読書と僕



附属病院長
嶺 尾 徹

生来、僕は読書をするという習慣を持っていない。しかし例外が3度ある。

一度目は受験が終わりに無為に過ごしていた頃、「本でも読んだら。」と母親より与えられた「日本文学全集」を何故か必死に読んだ時である。未知の世界の主人公が、いささか荒んでいた僕の心に心地良い感動をもたらした奇跡を今も覚えている。

二度目は六十歳の年である。或る日、河原町の大書店に入った。いつもは医学書以外は無関心な僕が突然眼に入った無数の書籍に驚愕した。同時に「僕はこれらの本を読まずにこの世を去るのか。勿体ない話だ。」と焦りを感じた。そのまま家に帰り、家内に「本を読みたくなった。何か良いのを見せてくれ。」彼女は妙な顔をしたが、二・三十冊の本を持って現れた。ほとんどが宮本輝氏と宮城谷昌光氏のものであった。この一年は読書の年

世代型統合医療) を提唱してきました。次世代型統合医療では、スピリチュアリティの向上とそれを実践する環境を重視するところに特徴があります。ここ数年、寺院や都市型緑地公園を利用した次世代型統合医療のモデルを構築し、いくつかの検証実験を行ってきました。その結果、がん患者を対象にした次世代型統合医療によるスピリチュアルケアで、スピリチュアリティの向上、QOL改善や不安感、疲労感の軽減、サーカディアンリズムの改善、免疫能の亢進などが確認されました。緑地環境で実施される統合医療は、がん患者のスピリチュアルケアに有用であることがわかったのです。

さらに、別の試みとして、鍼治療などと組み合わせた統合医療による認知症予防試験にも取り組んで、認知能の増強効果のあることも明らかにしてきました。

このような統合医療を実践する場として、本年11月下旬に京都市内の洛西ニュータウン・京都エミナース内に附属統合医療センターを開設する予定です。皆様方のご協力を賜り、ぜひよい施設にしていきたいと願っています。

にして医学書は二の次と決めた。次の年に医学に復帰した時は浦島太郎になっていたのには驚いた。

三度目は今年であるが二人の著作を読み返している。輝氏は僕に「人間の性は善である」「愛と憎が喧嘩をすれば愛が勝つ」「大事の前の小事に悩むな」等を教えてくれた。特に「螢川」「泥の川」「錦織」が好きである。

宮城谷昌光氏のは中国の春秋・戦国時代の歴史小説である。晋・齊・楚・秦などの名君、名宰相、英雄が王道、時に覇道を求めて中華大陸を駆け巡り戦うが、その根底には儒教、道教に基づく「仁」「義」「徳」「礼」が存在し「覇」を凌駕する。これらを会得すれば、二人の先生のおかげで僕はそのうちに聖人になる予感がしている。

最後に中国古典より一言。「青取之於藍而青於藍」(荀子) 有名な「出藍」である。青が「弟子」で藍は「師」であるが、昌光氏は青は「新しい自分」、藍は「古い自分」で自己改革の教えと解釈する。さらにもう一言。「読書万倍利」(古文真宝) 氏は言う。まさに読書とは宝の眠っている洞窟に入り込む事である。しかし同じ本を読んでも、その洞窟の扉を開ける鍵の見つかる人とそうでない人がいる。「青」となって鍵を見付け宝を得ようということか。

情報化時代と図書館



学長 中川 雅夫

時代の流れとともに新聞雑誌類をはじめ多くの出版物の発行部数にも変化がみられ、情報工学の進歩とともに電子書籍などのオンライン化も進み、多くの新しい読書用端末の開発競争も行われている。これらは社会構造の変化とともに多様な利用者の行動変化を反映するものと思われ、従来の図書館の機能にも変化がみられる。本学の図書館はと言えば、大学図書館としての対応が随分社会の流れに遅れている。

大学図書館は基本的には文部科学省の設置基準に適合するかたちで開設され、基本的には学生ならびに教職員の教育ならびに研究支援に供するものであるべきものと考えられてきた。情報過多の時代を迎えて利用者の情報アクセスの動向にも変化がみられる。しかし図書館としての役割は大学により異なるものと思われ、機能的な面では本学には本学なりの特徴があってしかるべきで、どのような方向で整備して行くかが、今、我々に問われていると言える。

最近の本学の附属図書館の利用度は低い。その理由は何か、私なりに考えてみた。原因としてはいろいろあげられるが、結論的には利用者のニーズにあっていないからであり、図書館に魅力がないからであろうと

推測している。他の大学図書館にもあてはまることかもしれないが、利用者の多様なニーズに答えることは難しい課題であるが、全学の総意を結集すればきっと多くの利用者に満足される図書館に変えて行くことができるかと確信している。

多額の図書の購入予算を投入している現状からすれば、まずは図書館職員に正確な現状分析と対応を求めたい。管理責任者として図書館長、図書館職員、各学部の代表である図書館委員の方々にも早急に改善に向けた対策の検討や提案をいただきたい。

図書館は大学の看板ともいわれており、貴重な重要資料、情報等も保管所蔵されており、図書館長や図書館職員は大学存在の基盤を支える重要な使命を分担していることになる。図書館職員は古本の倉庫の番人でもないはずであり、決して特定の出版販売会社の代理人でもないはずである。今一度、与えられた職責を自覚していただきたい。また図書館委員の皆さん方には学部の利害の代弁者に終始することなく、もう少し利用者の希望を叶えるために努力いただくことをお願いしたい。

図書館



鍼灸を志す諸君へ
- 君は『皮膚は考える』を読んだか -



鍼灸学部長 健康 予防鍼灸学ユニット 矢野 忠

皮膚の大きさは、成人では約1.6平方メートルにも達し、重量はおおよそ約3Kgになる。まさに皮膚は人体最大の臓器である。しかも外に飛び出した臓器で〔外臓〕である。

この最大の外臓の機能は、身体を包む革袋としての役割としか捉えられてこなかったが、更に最近の皮膚科学の進歩により、皮膚への認識は大きく変わろうとしている。すなわち皮膚は単なる隔壁や革袋ではなく、広汎な外受容器としての身体外部からの刺激に反応する一つの場であるとともに、身体内部の歪みを写し出す高感度のブラウン管的役割を果たしている、という認識である。加えて皮膚は、タッチングを介して非言語的なコミュニケーションをかわす場でもあるという。こうした皮膚の多機能性について、傳田光洋はその著書『皮膚は考える』(岩波科学ライブラリー112、2005)の中で皮膚は第三の脳であり、考える能力があるとまで言い切っている。すなわち皮膚は露出した脳であり、体を包む薄い脳であるとの認識である。

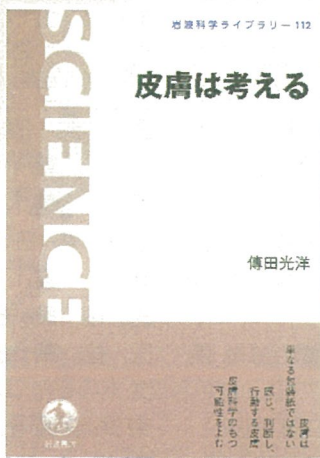
最近の皮膚科学の研究から、表皮の細胞には脳と同様に様々な生理活性物質を産生するとともに多様な情報を読み取る受容体が存在することが分かってきた。

例えば、ドーパミン、ノルアドレナリン、アドレナリン、コルチゾール・ACTH・βエンドルフィン・サ

プスタンスPなどの化学伝達物質を産生し、表皮への圧刺激で角質細胞から一酸化窒素(NO)も産生されるという。受容体については、例えばTRP型受容体(温度受容体)やATP受容体(痛みの受容体)、さらにはNMDA受容体(大脳海馬で記憶や学習を担う)、ドーパミン受容体、GABA受容体などがある。さらに光や音を感受したりもするという。TRP型受容体の一種であるTRPC受容体は、フェロモン受容体との報告もある。まさに皮膚は、考える外臓である。

一方、鍼灸医学では、古来、皮膚を情報及び生体エネルギーの伝導路(臓腑-経絡システム)であると捉え、臨床においては診察と治療の場として利用してきた。皮膚が脳神経系である可能性を提示したのは鍼灸医学が原初であるといっても過言ではないが、今、皮膚科学との出会いによってそのことが明らかにされつつある。

傳田光洋は、『皮膚は考える』に続いて『皮膚から考える命、こころ、世界、第三の脳』(朝日出版社2007)を、『賢い皮膚-思考する最大の〈臓器〉』(ちくま新書、2009)を上梓している。皮膚への深い愛情をもって皮膚科学の最新の知見を分かりやすく解説されているこれらの書籍を鍼灸を志す若き学徒に是非読んでもらいたいと心から願っている。



新着医学系図書・視聴覚資料一覧

(平成21年1月～12月収蔵分)

書名	著者名等	出版社
新医学概論	森岡恭彦 編著/村上陽一郎 編著/養老孟司 編著/	産業図書
生命倫理と医療倫理	伏木信次 編集/櫻別章 編集/霜田求 編集/	金芳堂
臨床倫理学入門	福井次矢 編者/浅井篤 編者/大西基喜 編者/	医学書院
入門・医療倫理 I	赤林朗 編者	勁草書房
生命倫理への招待 改訂2版	塩野寛	南山堂
コメディカルのための論文の書き方の基礎知識	日本病態栄養学会編集/武田英二 編集主幹/田中清ほか編	メディカルレビュー社
流れがわかる研究トレーニングHot To 医系大学院・研究留学、いつどこで何をする?	佐藤雅昭/草場鉄周/富塚太郎/	メディカルレビュー社
医療系研究論文の読み方・まとめ方-論文のPECOから正しい統計的判断まで	刈馬栄輝	東京図書
訓訳 傷寒辨要	浅田栗園原著	谷口書店
中医学の基礎	平馬直樹 監修/兵頭明 監修/路華 ほか 監修/	東洋学術出版社
脈診論	陳勇	海鳥社
東洋医学の宇宙 太極陰陽論で知る人体と世界	藤本蓮風	緑書房
鍼灸・漢方の名医になるための秘訣-張景岳先生の医易学入門-	神野英明 編訳・解説	たにぐち書店
医学三蔵弁解	岡本一抱子(一抱) / 伴尚志 訳	たにぐち書店
補完・代替医療アーユルヴェーダとヨーガ	上馬場和夫	金芳堂
休み時間の解剖生理学	加藤征治	講談社
解剖生理学ノート 人体の構造と機能	志村三夫 編集/岡純 編集/山田和彦 編集/	羊土社
基礎解剖生理学 第2版	戸田一雄/木本万里	おういろう
新しい解剖生理学 改訂第12版	山本敏行/鈴木泰三/田崎京二/	南江堂
MRI断層解剖アトラス 3Dで見る骨と筋	坂井建雄/新津守	日本医事新報社
人体の構造と機能 コア・スタディ	有田秀穂/原田玲子	朝倉書店
いちばんやさしい生理学の本	當瀬規嗣	秀和システム
新生理学 第5版	竹内昭博	日本医事新報社
運動学テキスト	藤縄理 ほか 編集/細田多穂 監修	南江堂
賢い皮膚-思考する最大の〈臓器〉	傳田光洋	筑摩書房
脳神経科学リテラシー	信原幸弘 編著/原望 編著/山本愛実 編著/	勁草書房
感動する脳	茂木健一郎	PHP 研究所
標準薬理学 第6版	鹿取信 監修/今井正 ほか 編集/藤村昭夫 ほか 執筆/	医学書院
標準病理学 第4版	坂本修彦 編集/北川昌伸 編集/仁木利郎 編集/	医学書院
補完・代替医療プロバイオティクス	辨野義己	金芳堂
免疫学・微生物学	Jeffrey K Actor / 大沢利昭 訳/今井康之 訳/	東京化学同人
やさしいエビデンスの読み方・使い方-臨床統計学からEBMの真実を読む	能登洋	南江堂
臨床医学各論 第2版	東洋療法学校協会 編集/奈良信雄 著者代表	医歯薬出版
救急診療チェックマニュアル 現場で使えるフローチャート&to doリスト	三宅康史 編集	羊土社
柔道整復師のための救急医学	太田洋一 編/社団法人 全国柔道整復学校協会 監修	南江堂
正常画像と並べてわかる頭部MRI 改訂版 ここが読影のポイント	土屋一洋 編集/大久保敏之	羊土社
整形外科学 第3版	立野勝彦/奈良勲 シリーズ監修/鎌倉純子 シリーズ監修/	医学書院
すぐに役立つ鍼灸処方162選	張仁/田久和義隆 訳	源草社
早わかり経外穴110選	張仁	源草社
新版 経絡経穴概論	教科書執筆委員会/日本理療科教員連名ほか 編/第二次日本	医道の日本社
ビジュアルでわかるトリガーポイント治療	Simeon Niel-Asher / 伊藤和憲 監訳	緑書房
中医学に基づく実践美容鍼灸	王財源	医歯薬出版
鍼灸医療安全対策マニュアル	尾崎昭弘 編集/坂本步 編集/鍼灸安全性委員会 編集/	医歯薬出版
臨床経穴局所解剖学カラーアトラス 五面展開図での解説	白石尚基 編集	文光堂
実践針灸の入門ガイド チャート付き 原書：『実用針灸医案表解』	朱江 主編/野口創 翻訳	東洋学術出版社
国家試験出題基準 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 改訂版	(財)東洋療法研修試験財団	医道の日本社
ゴードン看護診断マニュアル 原書第11版 機能的健康パターンに基づく看護診断	マージョリー・ゴードン/看護アセスメント研究会 訳	医学書院
救急看護学 第4版	山勢博彰/山勢善江/菅原美樹 ほか/	医学書院

老年看護学 第7版
 NANDA-NIC-NOCの理解-看護記録の電子カルテ化に向けて
 実践救急ナースング
 ここからはじめる!看護国師必修対策テキスト 2011年版
 看護学生とナースのためのベーシックナースング
 看護師国家試験サクセスゲート 改訂2版 カリスマ講師のこれで合格!
 看護師国家試験合格対策 必修問題360選 2011年度
 小児看護学
 わかりやすい内科学 第3版
 循環器疾患ビジュアルブック
 Annual Review 呼吸器2010
 消化管癌画像診断アトラス 見逃し、誤りを防ぐ!
 足関節捻挫予防プログラムの科学的基礎
 筋 筋膜性腰痛のメカニズムとリハビリテーション
 ストレスと筋疼痛障害 慢性作業関連性筋痛症
 運動器リハビリテーションシラバス-セラピストのための実践マニュアル 改訂第2版
 エビデンスに基づく腰痛症の鍼灸医学
 認知症予防学
 救急初期診療パーフェクト
 神経ブロック・鍼療法
 麻酔科 第2版
 柔道整復師国家試験傾向と対策 2011
 柔道整復外傷学ハンドブック 総論 詳しい解説と見やすい図表
 リハビリテーション医学
 皮膚は考える
 産婦人科領域の鍼灸治療
 衛生学・公衆衛生学
 保健師国家試験予想問題集 2011年新出題基準別
 成功する治療院・サロン経営 ロコミー一番店の作り方
 貝原益軒の養生訓
 図解雑学 養生訓
 薬膳料理の基礎知識
 新・小児保健 第13版
 アロマセラピー入門 日々の看護に生かすホリスティックアプローチ

北川公子/井出訓/植田恵/
 黒田裕子
 丸川征四郎 編集
 さわ研究所 編者
 高久史磨 監修
 内田都良 編集
 中田康夫 監修/小島光華 ほか 監修協力
 中村伸枝 編集/川野雅資 監修
 井村裕夫 編集主任/大井元晴 編集委員/岡崎和一 ほか 編集
 落合慈之 監修
 永井厚志 編集/葉浩一郎 編集/桑野和善 編集/
 武藤学 編集
 加賀谷善教 ほか 編集/福林徹 ほか 監修
 加賀谷善教 ほか 編集/福林徹 ほか 監修
 ホーカン ヨアンソフ ほか 編/関野忠明 監訳/岩瀬敏 ほか
 岩谷力 ほか 編集/日本運動器リハビリテーション学会 監修/
 社団法人 全日本鍼灸学会 編集/川原田可 編集/表/岩山清
 山口 登
 今明秀 編集
 細川豊史 編者/石丸圭莊 編者
 KM100%編集委員会 編著
 柔道整復師教育委員会 監修
 伊藤謙 編著/平澤泰介 監修/北條達也 監修/
 土肥信之/(社)東洋療法学校協会 編者
 傳田光洋
 形井秀一
 松本幸久/鈴木庄亮/(社)東洋療法学校協会 編/
 星旦二 監修
 花谷博幸
 ショージ秋山
 常津良一
 中村信也
 今村榮一 編著/巷野悟郎 編著
 今西二郎 編集/荒川唱子 編集
 医学書院
 医学書院
 永井書店
 啓明書房
 メジカルレビュー社
 メディカ出版
 東京学参
 PILAR PRESS
 文光堂
 学研メディカル秀潤社
 中外医学社
 羊土社
 ナッブ
 ナッブ
 名古屋大学出版会
 南江堂
 医歯薬出版
 明治書院
 羊土社
 医歯薬出版
 医学教育出版社
 南江堂
 医道の日本社
 医歯薬出版
 岩波書店
 健康福祉法人桜雲会点字出版部
 医歯薬出版
 メディカ出版
 ナツメ社
 海竜社
 ナツメ社
 環健出版社
 診断と治療社
 日本看護協会出版会

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (視聴覚資料) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

わかりやすい医学の基礎知識シリーズ 全30巻
 悪性新生物の領域 悪性腫瘍の概要 胃癌 大腸癌 肝癌 肺癌 乳癌 子宮癌 第10集
 免疫の領域 第9集
 技術指導の実際 心肺蘇生法
 勇気をだして!応急手当 救急車がくる前に
 意識障害けいれん
 気道確保と心肺蘇生
 出血と止血
 創傷と応急処置
 深谷灸法実践講座 基本テクニックから治療の実際まで
 鍼術実践講座 陽経の鑑別から治療まで

砂野 哲 学術指導
 任野泰清 監修/倉石安庸 監修
 川合真一 監修
 自治省消防庁救急救助課 監修
 自治省消防庁救急救助課 監修
 (財)消防科学総合センター 企画
 (財)消防科学総合センター 企画
 (財)消防科学総合センター 企画
 (財)消防科学総合センター 企画
 福島哲也
 杉山勲
 新 和
 医学映像教育センター
 医学映像教育センター
 インターメディカ
 インターメディカ
 インターメディカ
 インターメディカ
 インターメディカ
 緑 書 房
 緑 書 房

図書館からのお知らせ

〈 図書館からのお願い 〉

1. 本は元の場合へ

開架・閉架を問わず、書架から取り出した本は必ず所定の位置（請求記号順）に正しく戻して下さい。所定外の位置に戻されますと所在不明本となり、図書館全蔵書の中から探し出すのは大変困難です。他の利用者の貸出 閲覧に支障をきたすこととなります。

2. 利用上の注意

貸出した資料は大切に扱って下さい。破損・汚損・紛失の場合は弁償となります。

また、資料の「又貸し」は厳禁です。資料の貸出・返却手続きは必ず本人が行って下さい。

貸出・返却・閲覧の規則を守って下さい。貸出手続きをせずに資料を持ち出す事は「不正行為」です。

3. 医中誌Webについて

図書館のHPより、学内LANを経由しログインすることが出来ます。ただし、アクセス数が限られている為、検索終了後は、速やかにログアウトを行って下さい。

お互いに注意を払い、快適な閲覧環境の保持を心がけましょう。

4. 図書館内コピー機について

コピー機を利用される場合は、受付カウンターで「文献複写申し込み」に必要事項を記入し、許可を得て下さい。

コピーの利用に当たっては、著作権法第31条を遵守し、図書館所蔵資料のみコピーを行って下さい。

〈新着図書・特集コーナーの設置について〉

新着図書の棚及び、特集コーナーを設置しました。貸出も出来ますので、どうぞご利用下さい。

〈新規購読雑誌について〉

2011年より Acupuncture in Medicine (BMJ Publishing Group) をオンラインジャーナルで購読開始します。

〈文献複写について〉

図書館専用Faxの設置に伴い、複写サービス手続きが今までと比べ迅速に出来るようになりました。申込書に必要事項を記入し受付にお申し込み下さい。（書式はHPからもダウンロード出来ます。）

平成21年度の収書・蔵書状況

	収書冊数	蔵書冊数
一般図書	740 (54)	51,002 (9958)
点字図書	0 (0)	1,404 (0)
製本雑誌	530 (265)	14,077 (7035)
視聴覚資料	88 (0)	2,348 (123)
合計	1,358 (319)	68,831 (17116)

	雑誌タイトル数
学術雑誌	68 (60)
一般雑誌	5 (0)
合計	123 (60)

() 内は外国書で内数

() 内は外国書で内数

平成21年度図書館利用状況

1. 貸出件数

各学部合算（延べ人数）

区分	冊数	1年生	2年生	3年生	4年生	院 生	卒 研 生	その他	教職員	小 計
		H 21年度	115	833	706	1,099	1,226	—	88	443
	%	3	18	16	24	27	—	2	10	100
	人数	82	531	440	718	496	—	34	130	2,431
	%	3	22	18	30	20	—	1	5	100
H 20年度実績	冊数	164	815	847	872	975	—	100	602	4,432
	%	4	18	19	20	22	—	2	14	100
	人数	134	495	525	555	388	—	42	180	2,319
	%	6	21	23	24	17	—	2	8	100

* 学部生の長期貸出（上記表の内数）

受付期間	H 20年度実績			H 21年度実績		
	鍼灸	保・短	看護	鍼灸	保・短	看護
夏季休業（7月23日～9月10日）	131	9	171	67	22	52
	83	6	93	44	16	27
冬季休業（12月9日～12月28日）	51	42	75	77	14	52
	37	31	50	43	9	28
春季休業（2月4日～3月23日）	62	30	90	104	21	62
	37	22	46	62	14	34
合計	661			471		
	405			277		

2. 文献複写（相互利用）

	平成21年度	平成20年度
受付件数	59	94
受付枚数	172	304
依頼件数	51	76
依頼枚数	193	274

3. 土曜開館の利用状況

	平成21年度	平成20年度
開館日数	42	39
利用人数	69	44

編集後記

図書館報「駒の館だより」は昭和56年に創刊されていますので、今回が第30号になります。そこで記念号を発刊しようと考え、学内のおもだった先生方に執筆をお願いいたしました。お寄せいただいた原稿はそれぞれテーマは異なりますがすべて含蓄に富み、いろいろと熟慮させられる内容になっています。また図書館の今後の方向性を示していただいたものもあります。図書館では本年度より一部の雑誌でonline journalの導入に踏み切りましたがまだまだ不十分であり、情報検索のさらなるIT化が必要と思われる、通信制大学院の開設のための準備とともに誠意検討しております。今後とも諸般の事情をご賢察の上、建設的なご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。またお忙しい中原稿執筆をご快諾いただきました各先生方にはこの場を借りて厚くお礼申し上げますとともに、お寄せいただいたご意見を重く受け止めて今後の図書館の発展に資するよう努力したいと考えています。

（中尾昌宏）